

オフィスマネジメント業務の拡大続く

22年1月から本格開始 エンゲージメント強化目的の移転増加

ビル総合マネジメント会社の平成ビルディング（東京都千代田区）は、2022年1月にオフィスマネジメント部を設立。「エンゲージメント強化」等を目的としたオフィス再構築のニーズは高く、今後は一層オフィスマネジメント業務の拡大・成長を推し進めていく。

リース業務とFM業務の一体化

保有物件の「建物等劣化状況調査報告書」などが好評を得ている。みずほ信託銀行の親会社である平成ビルディングは、PM業務（ビルオーナー代行）、設備点検、清掃業務などのB.M業務をはじめ、テナントリース業務、リニューアルきた。工事および建物診断やCM業務、建物調査などの不動産デューデリ

の不動産デューデリジェンス業務、省エネなど専門的なコンサルティンクにも対応している。近年では周辺地域のマーケットや競合ビル等を徹底的にリサーチして提供する「リースングレポート」、



平成ビルディング 執行役員 リーシング・FM本部 副部長 長谷川 幸治氏

イスレイアウトでの座席配置、内装デザイン・インフラ設備設計の「オフィス再配置」、入居整備工事・内装・設備リニューアル工事、原状回復工事を行う「オフィス内装工事」、新規什器提案・販売・納入や中古什器の販売・買い取り、什器レンタルを行う「什器備品」を提供。それぞれ「対応」を提供。それが連携しながら、企業に最適なワークプレイスを提案している。またオフィス移転に限らず既存オフィス内でのレイアウトの見直しも可能。ワークの居心地や快適性も視野に、効率的な環境整備に役立ててきた。

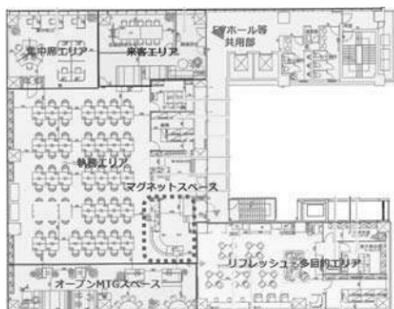
執行役員 リーシング・FM本部の長谷川幸治副部長は「オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。」

みずほグループ挙げて連携と体制強化実施

また今年8月からは、オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。

また今年8月からは、オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。

また今年8月からは、オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。



集中と交流を意識した本社レイアウト ▶ 大画面を設置した集中エリア



▲会話を育むマグネットスペース ▲リフレッシュエリアで交流促進

また今年8月からは、オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。

また今年8月からは、オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。

また今年8月からは、オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。オフィス再配置の需要は大きく、企業は働き方改革やDX化が急速に進んでいる。